

## たくさんさんの命が輝きだす春

花の名前については、撮影した画像データをグーグルレンズで判定させました。



スミレ



グラジオラストリスティス



矢車菊



ヒメオドリコソウ



レンゲ



リナリア



麦の穂が顔を出した

春から夏にかけて植物は一気に活発になります。当地では麦の穂が出てきだしました。やがて花が付き、麦が実りの時期を迎えます。

麦の出穂時期が圃場によって少しずつずれています。どうやら植え付けの時間の差がそのまま、生育の差になるようです。麦だけではなく、農道や圃場に緑色が

日に日に濃くなってきています。そこには小さな花もたくさん咲いています。いずれ「雑草」として刈り取られてしまうかもしれませんが、この時期だけの自然のプレゼントを紹介しましょう。  
今回は農道や水路などに自生で咲いているものを撮影しました。珍しいものや、よく見ると美しい形をしたものなど、さまざまです。



トラックの荷台から直接選び取られる野菜

### 多くの仲間を支えられている朝市

八方原ふれあい朝市は毎週土曜日の早朝、開催されます。季節の野菜、花などが毎回農家の皆さんから、消費者の方々へ直接販売されます。

4月19日の朝、常連さんが待ち構える広場に野菜を積んだ軽トラックが到着すると朝市の始まりです。

小紙2013年12月号に、「朝市開設15周年記念」という記事を掲載していました。今年は開設28年ということになります。

楽ではないでしょうが、八方原の看板として頑張ってください。

### 今年も始まった「雑草」との戦い

いよいよ雑草との闘いが始まりました。草花も命の輝きと、種の繁栄のために必死に生きようとしています。人にとつてはとても手ごわい相手です。両者のせめぎあいは、冬まで続きます。



この季節でも楽じゃない

# 「お知らせ」を続けて18年

小紙今号が通算216号となりました。216号は丸18年ということになります。2007年(平成19年)6月から小紙は発行しました。

最初はここまで続くとは思っていただけではありません。とにかく新しく始まった「農環境を守る活動」をみなさんに知らせようというだけで始まりました。

数年間続けると、みなさんがしっかりと読んでくださっていることを、何度も実感することとなりました。

そうなるが発行する側も、かなり重圧を感じるようになります。ただ単に紙面を埋めればよいというものではないということなのです。

その結果が昨年度の県の最優秀賞となりました。今後も頑張ります。

## 自治会の新年度がスタート

4月13日、八方原自治会の総会が開催されました。令和6年度の活動報告、収支報告そして、新年度の活動計画と

予算案全ての議案が原案の通り可決されました。

昨年度は、公民館の照明と和室のエアコンの更新が行われました。本来は令和6年ではなく、令和7年度に実施の予定でした。しかし市の補助金の予算上の都合で1年早く実施となりました。そのために地元自治会負担金が発生します。そのために定期預金を2口解約して資金を確保し、実現できました。

また、年度当初の資金繰りの関係で公民活動費の残予算を40万円程、一般会計に繰り戻して運営を行いました。予算編成がかなり厳しい状況であることは、間違いありません。



議論がひと段落し、気分が和んだ瞬間

## 通路の真ん中に大きな陥没



市道脇の水路から大きな樹への土管が破損

4月14日、近隣の方々から道路の陥没のお知らせがありました。自治会では直ぐに市の担当課に連絡、現場を確認してもらい、緊急の工事が翌日に行

われました。場所はシャーマンズアパートの入口でした。まずは中国建設工業さんによつて安全確保の対応を行いました。

## 中郷八幡宮「春の例祭」



△境内の除草清掃は地区の担当場所を  
▽地区総代が参加して春の例祭



また春の除草清掃について1・2・3班の皆様にご協力いただきましました。感謝申し上げます。お陰様で、例祭を無事に終えることができました。

八方原自治会の皆様、令和7年度の中郷八幡様へのご寄付(神社費)、まことにありがとうございます。年々運営が厳しくなる神社の会計、なんとか維持できているのは、皆様のご協力のおかげです。